

研究実施のお知らせ

研究課題名：主治医から転院を勧められていたが自宅退院を強く希望した患者の振り返りと病棟看護師の役割

研究期間：令和7年7月1日～令和8年1月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2025年3月～5月に当院9階西病棟に入院され腰椎圧迫骨折で入院されていた方

【研究の目的と意義】

2025年3～5月に当院9階西病棟に入院され腰椎圧迫骨折で入院されていた患者との関わりを振り返り、退院支援について考察し、その内容を報告いたします。

【研究の方法】

診療録を用い、後方視的に退院支援について考察します。

【研究に用いる資料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳正に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問い合わせ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡をください。また、今回の研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 9階西病棟

代表 022-308-7111（内線 3491）

研究責任者 看護師長 山家 香織

研究担当者 小堀 智美